

なんケア通信



第33回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：令和4年10月7日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：43名(介護事業所関係者 17名、医療機関関係者15名、
地域包括支援センター 4名、調剤薬局1名、その他6名)



演題 『 近未来の医療・介護・福祉の情報共有 ～国が推進するICT(情報通信技術)戦略について～』

・第1部:健康・医療・介護領域の政策動向

・第2部:地域包括ケアシステムについて

・第3部:介護システムに求められる要件について ～介護業界におけるICTの振り返りと現状、未来～



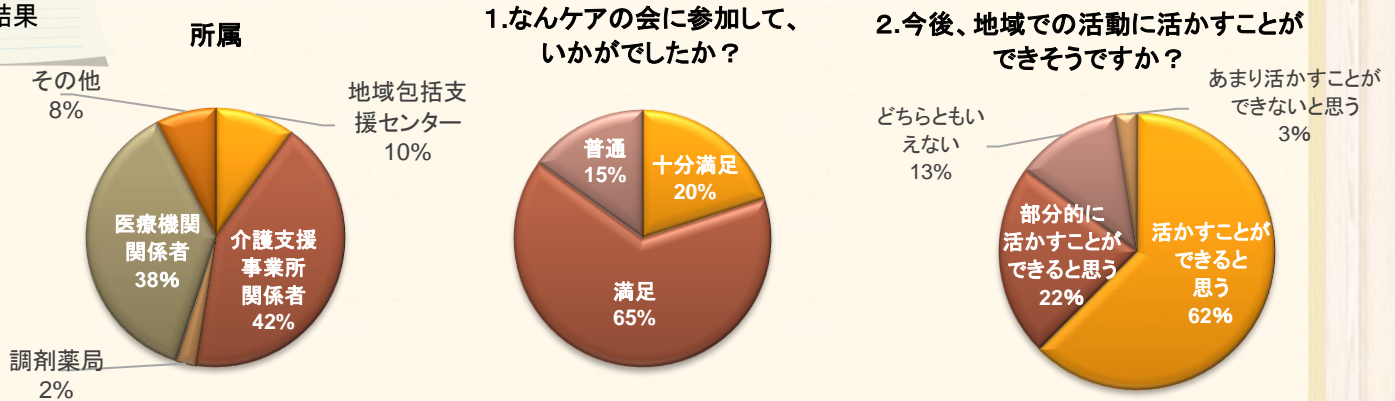
今回は富士通JAPAN株式会社様に、国が考えている医療・介護領域における情報通信技術について、3本立てでお話していただきました。

医療・介護現場での情報共有に関するお話では、他県の事例も交えながらご紹介いただきました。ICTの活用事例についてはスマートデバイス画面を提示しながら、何ができるのかということ具体的に教えていただきました。

近い将来、ICT活用により患者様がより安心で、私たちがより働きやすくなることを願っています。



アンケートの 集計結果



会場の様子と 皆様からの ご意見・ご感想



講師の皆様



質疑応答の様子



会場の様子

回収率:93%(アンケート配布:43名、回収:40名)

今回は国の政策動向等説明いただき、日頃の勉強不足を感じました。今後ますますオンライン化が進み、日々の学習が大切と思った。本日はありがとうございました。(介護支援事業所関係者)

職場は人材不足が続いています。しかし、やるべきことは減ることもなく職員間の負担は増すばかりです。ICTの活用によって業務がスムーズに行えるようになれば良いと思いました。同時に、経年と共に新しいことやモノに慣れるまで時間がかかる方もいるため、職員全てが活用できるツールになると国のねらい通りになると思います。(介護支援事業所関係者)

次回開催の お知らせ

開催日時：令和4年12月2日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」

